

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	1	学校名	岐阜高等学校
------	---	-----	--------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	県内最古の歴史と伝統を誇り、国内外の第一線で活躍する人材を数多く輩出してきた高校として 知的好奇心を高める質の高い授業と、地域や企業、大学等と連携した探究的な学びを通して グローバルな視点を持って多様な人々と協働し、地域や日本、世界を牽引するトップリーダーの育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	1 「百折不撓・自彊不息」の校訓のもと、不屈でたくましい精神力をもった人材を育成する。 2 文武両道をモットーとして、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな人材を育成する。 3 勤労を尊び、思いやりと奉仕の心をもって社会に貢献する人材を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルリーダーとなるための資質を備え、将来世界で活躍したり、地域の活性化に貢献したりすることができる生徒</li> <li>「生命」を大切にすることをもち、他人の価値観の多様性を認め、互いを尊重できる人権意識をもった生徒</li> <li>自己の能力や適性、興味を理解して自ら主体的に将来の進路を選択・決定する態度を持つことができる生徒</li> </ul>	
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>知的好奇心を喚起し、主体的な学習態度や人間性を育成するための、質の高い授業の実施</li> <li>将来の社会貢献につながるような、幅広い分野での専門的な内容の体験プログラムの提供</li> <li>探究的な学びや個に応じた学びを重視した適時・適切な支援</li> </ul>	
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> <li>不屈でたくましい精神力を持ち、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性を、仲間とともに目指したいと考える生徒</li> <li>勤労を尊び、良心や思いやり、奉仕の心をもって社会に貢献できることを、仲間とともに目指したいと考える生徒</li> </ul>	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒それぞれの全人的な成長を図る教育活動のさらなる整備と充実。</li> <li>生徒個別の高度な進路目標を実現するための、教員の教科の指導力・授業力の向上や、教員の進路指導に関する資質の向上を図る具体的な実践。</li> <li>長時間勤務、多忙感解消など、教職員の働き方改革の推進。</li> </ul>		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①主体的な学習態度の育成</li> <li>②全校体制による授業参観・研究授業の活性化による授業改善</li> </ul>	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①教科学力の充実と進路希望達成のための支援</li> <li>②自己理解の深化と進路選択能力の育成</li> </ul>	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>①自他の命を大切にできる態度と情報モラル意識の向上</li> <li>②個に応じた適時・適切な支援</li> </ul>	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>①特別活動等を通じた心身の健康に対する意識や主体性の育成と自己実現の促進</li> <li>②校内事務のDX化推進と職員の長時間勤務・多忙感解消対策の促進</li> </ul>	

年度目標				年度末評価(自己評価)			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的な取組・方策	県教育振興 基本計画での 位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合 評価 A. B. C. D
学習指導	①不断の授業改善に取り組み、知的好奇心を高める授業を実施することで、主体的な学習態度を育てる。	施策Ⅱ-8	年2回授業アンケートの実施：肯定的評価90%以上				
	②ICT機器を効果的に活用し、協働学習や個別学習を取り入れた生徒主体の授業づくりを推進するとともに、学習の進捗状況を適切に管理・共有することで、学習効果の向上を図る。	施策Ⅱ-9	ICT活用をテーマとした研究授業：年5回以上実施				
	③公開授業授業や研究授業を通して教職員同士が授業実践を共有し、授業力向上のつなげる。	施策Ⅳ-26	教員相互の授業参観：前後期各1人1回以上				
進路指導	①難関対策や基礎学力講座、学習相談会などを通じ学力の底上げと大学入学者選抜に耐えうる教科学力の充実を図る。また教員の教科・進路指導に関する指導力向上も図る。	施策Ⅱ-8 施策Ⅳ-26	進路指導に対する生徒の肯定的評価：90%以上				
	②グローバルリーダー養成事業や各種講演会など、生徒の視野を広げるとともに、能力や適性の理解を一層深めさせる取組を推進し、キャリア教育の更なる充実を図る。	施策Ⅱ-11 施策Ⅱ-13	グローバルリーダー養成事業のプログラムで、希望者対象のプログラムに参加した生徒の割合：50%以上				
	③総合的な探究の時間における取組を充実させ、主体的に課題を解決する能力や資質の育成を図る。探究活動や各種プログラムにデータサイエンス的要素を取り入れ、文理問わずデジタル分野への能力・資質を養う。	施策Ⅱ-8 施策Ⅱ-9	各種調査・外部模試の分析結果、学習状況調査の結果、活動の記録				
	④命の尊厳講話や人権LHRを実施し、多様な人とつながり関わる力や自他の存在を大切にできる心の育成を図る。	施策Ⅰ-1 施策Ⅰ-2	生徒指導に対する生徒の肯定的評価：85%以上				
生徒指導	②日常におけるモラル指導と情報技術の特性についての学習や外部講師による講話を通じて、情報端末の適切な使用とモラルの向上を図る。	施策Ⅰ-3	ア.授業やHR活動など機会をとらえて情報モラルにかかる指導をしている教員の割合：100% イ. SNS等を利用する際に個人のプライバシーや情報モラルを意識している生徒の割合：90%以上				
	③生徒面談や心のアンケート、スクールカウンセラーとの連携など教育相談活動の充実を図る。生徒のSOSのサインを見逃さず、個に応じた適時・適切な支援を行う。	施策Ⅰ-3	学校評価アンケート、いじめアンケート、各講話に関するアンケート				
	④学校行事や部活動、演劇ワークショップ等を通じて集団への帰属意識と自己充実感や達成感を育てる。生徒による自主的活動を支援し、集団生活における好ましい人間関係の構築と豊かな社会性を育む。	施策Ⅰ-1	学校行事・部活動に対する生徒の肯定的評価：85%以上				
その他	②生徒が健康についての正しい知識を身に付け心身の健康課題に気づき解決する力を育む。	施策Ⅲ-17	各行事に対する生徒アンケート				
	③教職員の多忙感や長時間勤務の状況を可視化、分析する。校内文書のDX化を促進し働き方改革を進める。	施策Ⅳ-27	月間45時間超過勤務者の昨年度比2割減				

来年度に向けての改善方策等	実施日：令和9年 月 日	学校関係者評価	実施日：令和9年 月 日